

2-2-4 『広域交通』に関する交通施策等の体系化

(1) 基本方針とパッケージ名

圏域連携のための 『広域交通』を強化する

広域的な拠点間の連携強化を図り、都市の活力を向上させるため、既存道路を活用しながら、多様な都市機能を有する札幌市と道内・国内外とのゲートウェイとなる空港・港湾施設や、市内における高次医療施設等の都市施設と道内各地とのアクセス性向上を図ります。

広域連携パッケージ

札幌を含めた道内各地の魅力・活力向上を支援するため、道内各地や空港、港湾施設とのアクセス性向上等を図ります。

(2) 実施目標、交通施策・事業例

■実施目標①

道内各地及び道内外との物流の円滑化、救急搬送の迅速化及び緊急車両走行の円滑化を図るため、道内各地や空港、港湾施設とのアクセス機能強化の検討や連携道路等の整備を進めます。

■交通施策・事業例

- 都心アクセス強化道路軸の検討（創成川通の機能強化、豊平川通の南北延伸）
- 道央圏・札幌圏連携道路の検討・整備（札幌大橋、屯田・茨戸通、札幌江別大橋）
- 環状道路未整備区間の整備（西野真駒内清田線、環状通、札幌新道）
- 緊急輸送道路未整備区間の整備



創成川通（創成トンネル）



西野真駒内清田線（こばやし峠）
整備予定イメージ

■実施目標②

丘珠空港の道内航空ネットワークの拠点としての機能を維持・強化していくため、利用促進や利便性の向上等の取り組みを進めていきます。

■交通施策・事業例

- 丘珠空港集約後のビジネス利用の促進
- 航空を利用した新しい観光の開拓・拡大
- インターネット等を活用した情報発信・案内機能の充実
- 空港連絡バスや地下鉄の利便性の向上（地下鉄東豊線栄町駅交通広場の整備）



丘珠空港ビル内でのイベント開催
（市民でにぎわう「産直市」）



丘珠空港集約後のHAC路線 (平成23年10月現在)

<関連計画>

札幌市地域防災計画、道内空港活性化ビジョン（北海道）

など